

平成31年度第2次勝浦市男女共同参画計画事業の実施状況

男女共同参画づくりに向けた男女平等意識の醸成を図るため、平成31年度は88の計画事業を実施しました。

男女共同参画計画の実効性を確保するためには、本計画の取組状況を把握し、点検する必要があります。そこで、これらの事業を事業担当課による評価（4段階評価）を行いました。

A（達成できた）	・・・	26事業
B（概ね達成できた）	・・・	55事業
C（ほとんど達成できなかった）	・・・	5事業
D（未実施）	・・・	2事業

平成31年度の主な事業の実施結果は次のとおりでした。

■基本目標Ⅰ 人権の尊重と男女共同参画への意識づくり

◇主要課題1 男女共同参画の意識啓発

事業番号 30	講演会等の開催	担当課 評価	B
実施計画	男女共同参画に関するテーマのセミナーを勝浦市で開催し、市民参加を募集する。		
実施結果	令和2年1月20日（月）に勝浦市立勝浦中学校において、中学2年生を対象に「勝浦市男女共同参画 現状と取り組み」についての出前講座を開催した。 また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止となり、実施できなかったが、令和2年2月2日（日）に、勝浦市食生活改善会を講師に「パパ力向上！親子ギョーザ作り教室」の実施を計画した。		
今後の方針	予算の範囲内でセミナー開催を推進し、これまで参加の少なかった男性が多く集まるように努める。		

◇主要課題2 学校教育等における男女共同参画の推進

事業番号 110	保育士の研修への参加促進	担当課 評価	B
実施計画	保育士の資質の向上を図るため、研修を実施する。		
実施結果	一般社団法人 日本保育者支援協会 顧問 新保 庄三先生を講師に迎え、「保護者支援・保護者対応・危機管理について」と題し、研修会を行った。 保育所職員36名、放課後ルーム職員6名、幼稚園職員5名、こども館職員1名、他市町保育所職員16名 合計64名 参加		
今後の方針	更なる資質向上を図るため研修の参加を推進する。		

◇主要課題 3 あらゆる暴力の根絶と人権の尊重

事業番号 170	セクシュアル・ハラスメント防止対策のための情報提供	担当課 評価	B
実施計画	ホームページや広報紙を通じて、セクシュアル・ハラスメント防止対策のための情報提供を図る。		
実施結果	ホームページを通じて、セクシュアル・ハラスメント対策のための相談窓口の情報を提供している。		
今後の方針	今後もセクシュアル・ハラスメント対策をはじめとした各種相談窓口に関する情報提供を行う。		

■基本目標Ⅱ 様々な分野における男女共同参画の推進

◇主要課題 1 家庭生活及び地域活動における男女共同参画

事業番号 290	防災における男女共同参画の促進	担当課 評価	A
実施計画	女性消防団員募集事業。		
実施結果	消防団本部に女性消防団員を採用し、火災報知器啓発の各戸訪問などの際に消防署員に同行した。		
今後の方針	女性消防団員の増加を目標に募集事業を継続する。		

◇主要課題 2 労働の場における男女共同参画

事業番号 420	女性農林漁業者の作業環境の整備の推進	担当課 評価	B
実施計画	集落営農組織の立ち上げにより、高齢者や女性が働きやすい作業環境をつくる。		
実施結果	高齢者や女性が活躍できる環境造りの促進を図り、土地改良事業の実施を契機に、1 地域（大森）で集落営農組織内に女性部会を結成した。		
今後の方針	機会をとらえ各団体への啓発を行う。		

◇主要課題 3 政策・方針決定過程への女性の参画

事業番号 460	女性の参画状況調査の実施	担当課 評価	A
実施計画	審議会等の女性参画状況について、調査を実施し、ホームページ上で公表する。		
実施結果	審議会等の女性参画状況について、調査を実施し、ホームページ上で公表した。		
今後の方針	引き続き、審議会等の女性参画状況について、調査・公表を実施する。		

◇主要課題 4 ワーク・ライフ・バランスの普及推進

事業番号 510	市内事業所へのワーク・ライフ・バランスの普及啓発	担当課 評価	B
実施計画	広報やホームページにてワーク・ライフ・バランスについての文書を掲載し、啓発する。		
実施結果	市ホームページにおいてワーク・ライフ・バランスの啓発を行った。		
今後の方針	パンフレットやチラシなどで普及啓発に努める。		

■基本目標Ⅲ すべての人が充実して暮らせる社会づくり

◇主要課題 1 男女共同参画社会の実現に向けた福祉の充実

事業番号 690	高齢者の自立支援サービスの充実	担当課 評価	A
実施計画	1. 緊急通報システムサービス事業の充実を図る。		
実施結果	1. 緊急通報システムサービス事業では、サービスの拡充を図るため、平成26年度から委託事業者及びサービス内容の見直しを図った。 2. 民生委員と情報共有し見守り体制の充実を図った。		
今後の方針	緊急通報システム事業の見直し（通報装置及びシステム）を図ったことにより、24時間の見守りが可能となった。		

◇主要課題 2 生涯にわたる健康の保持増進

事業番号 880	母子交流機会の提供	担当課 評価	B
実施計画	両親学級や親子ひろば、離乳食教室などの母子保健事業を通し、相談体制を整え、保護者の交流を図る。また、特に支援の必要なケースへ対しては、家庭訪問など個別対応を行う。		
実施結果	親子ひろば（11回実施）、離乳食教室（5回実施）などの事業を通し、保護者の相談体制の確立や保護者同士の交流の場を設けることができた。		
今後の方針	引き続き、各種事業を通し、知識の普及や保護者同士の交流の場を設け、子育ての不安の解消に努める。		

※なお、組織改編等により計画策定時の事業担当課と現在の事業担当課が異なっている場合がありますことをご了承ください。